



うちのイチ押し!

大阪市立美術館 特別展

## メアリー・エインズワース浮世絵コレクション

アメリカ・オハイオ州にあるオーバリン大学のアレン・メモリアル美術館には、アメリカ人女性メアリー・エインズワースが寄贈した1,500点以上の浮世絵版画が所蔵されています。同コレクションは、明治39(1906)年、エインズワースの来日を契機に始められたもので、初期から幕末まで、浮世絵の歴史を辿ることができる上、有名浮世絵師の名品を含む優れた内容となっています。特に世界でも稀少な初期の浮世絵版画や、葛飾北斎、歌川広重の作品は質・量共に最も注目されるでしょう。

本展覧会では、メアリー・エインズワース浮世絵コレクションから珠玉の200点を選びすぐり紹介します。

### 開催期間

8月10日(土)~9月29日(日) 9:30~17:00(入館は16:30まで)

※月曜休館(祝日の場合は翌平日)、8月13日(火)は開館

### 講演会

#### ◆8月24日(土)

テーマ「初期浮世絵から黄金期へ  
—エインズワース・コレクションに見る浮世絵の展開—

講師: 田辺 昌子(千葉市美術館 副館長兼学芸課長)

#### ◆9月7日(土)

テーマ「エインズワースの集めた北斎」  
講師: 秋田 達也(大阪市立美術館 主任学芸員)

時間: 各日とも14:00~15:30

定員: 当日先着各150名

※聴講無料。ただし、当日の本展観覧券が必要です。



喜多川歌麿「九月九日 重陽」  
享和(1801~04)頃

### 摺り体験

日時: 8月25日(日) 13:00~16:00  
定員: 当日先着100名(お一人様1枚限り)

※摺った作品はお持ち帰りいただけます。  
※体験無料。ただし、当日の本展観覧券が必要です。

施設情報・観覧料等はP10をご確認ください。 問合せ 06-4301-7285(大阪市総合コールセンター)



## おおさか歴史探訪 137

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 大阪城紀州御殿付属庭園

— 荘厳なる御殿に相応しき庭 —

重要文化財の桜門を通り抜けて本丸に入ると、正面に巨大な“蛸石”が目に入ります。これを横目に柵形を抜けると、北を正面に天守閣、右手にはスクラッチタイル張りの旧第四師団司令部建物(現在のミライザ大阪城)があります。そして、左手奥にひっそりと池を配した日本庭園があることはみなさんもご存知でしょうか。この庭園は、明治18(1885)年に和歌山城から移築され、昭和22(1947)年に焼失するまで本丸内にあった紀州御殿に伴うものとして作庭されました。実は先にあげた天守閣と旧第四師団司令部建物、そしてこの庭園は、いずれも昭和4~6(1929~1931)年に市民からの寄付を得て実施された昭和天皇即位の御大典記念事業により整備されたものです。

これ以前にも庭園はあり、大株の樹木を配植し、所々に小さな築山がある平庭だったそうです。昭和6年には、鶴翼型の池を造り、師団司令部建物の建設で生じた土砂により築山を設け、滝口や流れを配して、築山林泉型の庭園へとリニューアルしました。御殿からの眺めがよいのはもちろんのこと、回遊路を巡って園内を歩いたのしむこともできる庭に仕上げられました。また築山側からは庭園と紀州御殿との融合により美しい景観をみるのができたそうです。当時の絵葉書には、池の南から天守閣を借景とした趣ある景色が写されています。

その後、紀州御殿は失われ、庭園の南部には盛土がされるなど、ようすは大きく変わりましたが、庭園の中心となる池やそれに沿って造られた築山などは当時の姿をのこしています。池の南に立つと今も絵葉書に写されたのとよく似た景色をみるができます。

日本庭園と天守閣からなるこの日本らしい風景を求めて、今日も海外から訪れた多くの人々が記念撮影をしています。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



大阪城本丸の日本庭園 池の南より天守閣をみる(水面には天守閣が映る)